

発達障がいの人のこと、 もっと知ってください。

長男の子育ての中で発達障がいに気づき、
早期療育の重要性を実感しました。
今回は発達障がい児・者への理解を求めて、
実体験を交えたお話しをします。



令和6年1月20日(土) 13:30～15:30(開場13時)
河内長野市立市民交流センター(キックス) イベントホール



【講師】

ふるかわ なおこ

古川直子氏

介護福祉士
自閉症の人のバリアフリーを考える親の会はぐくみ
ペアレントメンター

入場無料・定員200名

事前申込み必要(締切12月31日)
申込み方法は裏面をご覧ください。

●一時保育(1歳～就学前)あり
申し込み時に、保育希望/お子様名・
年齢を記入。

●要約筆記、手話通訳あり

古川直子氏プロフィール

■長男の発達障がい-成育歴

- ・3歳になった頃、子育ての中での気づき
- ・地域の小児科医との出会いから～専門機関へ
- ・早期療育の重要性を実感
- ・地域の保育所への理解を求めて～長男の「取扱い説明書」を作成
- ・小学校～中学校進学に向けて
- ・高校は高等専修学校を選択
- ・京都府高等技術専門校(京都くいな橋)職業訓練校
- ・大阪 イズミヤへ就職

■親の会 セルフヘルプグループの活動

- ・療育手帳の捉え方 ステイグマからパスポートへ
- ・障がい受容は多様
- ・専門職との関係性 依存関係にならないために、アサーティブな関わりを
- ・思春期の関わり 配慮ある無関心 自己肯定感をあげる
- ・障がい告知 生き辛さの自覚 告知前準備と告知後の支援

■略歴

- 1982年 京都精華大学卒業後、守口市にて中学校の美術の教員として勤務
- 1999年 京阪ライフサポート・御殿山ホットステーション・グループホーム勤務
- 2004年 子宮筋腫・卵巣嚢腫・乳癌手術
- 2006年 がん保険を活用し、佛教大学社会福祉学部社会人編入学
- 2008年 佛教大学卒業。同大学院にてセルフヘルプグループ(親の会・当事者の会)研究を行う。
- 同年、京都セルフヘルプ支援センター副代表に就任。
- 2011年より、龍谷大学 障害者福祉論・特別支援特論・発達障害関係シンポジウム・フォーラムに登壇。
- 一般市民や医療・福祉関係従事者、教育関係従事者などに向けての講演活動も精力的に行っている。

■主な公職・保有資格・所属など
自閉症スペクトラム学会会員
介護福祉士